

平成29年第14回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成29年11月16日

仙北市教育委員会

平成29年第14回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成29年11月16日(木) 午後2時00分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間 健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	渡辺 久信
教育次長	浦山 英一郎
教育次長	茂木 雅宏
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 和宏
教育総務課長	朝水 勝巳
北浦教育文化研究所長	三浦 政喜
田沢湖学校給食センター所長	伊藤 静子
角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
西木学校給食センター所長	芳賀 満希子
生涯学習課長	浅利 美智子
田沢湖公民館長	佐々木 幸美
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	山田 且也
市民会館長	高橋 徳夫
学習資料館・イベント交流館長	富岡 美津子
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一

5 議事

(1) 議案審議

議案第19号 平成29年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

議案第20号 平成30年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第37号 仙北市教育行政報告について

報告第38号 仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業補助金交付要綱の制定について

報告第39号 仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について

(3) 仙北市教育委員会委員長の選挙について

(4) 仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について

6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただいまから、平成29年第14回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

会議書記には村瀬課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は坂本委員、熊谷教育長を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

第14回定例会の開会にあたりご挨拶を申し上げます。

先日、市内三地区の文化祭がそれぞれ開催されましたが、西木地区の文化祭だけを拝見することが出来ず大変申し訳なく思っています。田沢湖、角館地区の文化祭を拝見し、それぞれの地域の特色がよく表れていて、出展者や出演者など、みなさんのこれまでの活動の成果を十分に感じ取れる内容でした。開催にあたり、各地区公民館長や関係者のみなさんのご尽力に感謝を申し上げます。

先月から今月にかけて、市内小中学校を会場に研究会が開催されました。私も角館小学校、生保内小学校での研究会に出席させていただきました。2校での研究会はそれぞれ内容が異なるものでしたが、いずれも子どもたちの成長を願うことを念頭に掲げ、大変、素晴らしく有意義な研究会であったと思います。そして、子どもたちの学習の成果はもちろんのこと、そこに至るまでの先生方のご努力を感じ取ることが出来ました。さらには、「俺についてこい。」などという時代ではないのですが、各校長先生の強いリーダーシップのもと自らが意欲を見せ、それぞれの先生方にご指導をなさっているということも伺い知ることが出来ました。

また、新潮社記念文学館で開催されている「自由律俳句展」を拝見し、この地域から偉大な人材が数多く輩出されていることを改めて痛感したところです。

(安部委員長)

それでは、当定例会の出席職員を紹介いたします。

(安部委員長)

次に、教育長の報告をお願いいたします。

(熊谷教育長)

それでは、11月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

(安部委員長)

－質問なし－

それでは、議事に入ります。

はじめに、議案第19号平成29年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明を求めます。

(朝水教育総務課長)

議案第19号平成29年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明いたします。

なお、それぞれ、課(所)ごとに説明をさせていただきます。

－資料により説明－

(主な補正予算事項の説明要旨)

- ・市内小中学校のスキー授業の日程や参加予定人数を確認し、市バスで対応出来ない部分の民間バス賃借料の所要額を補正計上している。
- ・角館小学校体育館照明安定器交換工事について、交換は1基となるが、設置箇所が高所のため、足場の設置が必要になることから、その費用で、多少掛かり増しになって

いる。

- ・平成30年度から、小学校での道徳教科に伴う教師用教科書、指導書の購入経費を補正計上している。
- ・これまで、市内中学校が各種大会出場、練習の成果を十分に発揮し、優秀な成績を数多く収めてきた。今後、冬期のスキー大会等出場が予定されており、予算額の不足が見込まれることから、その所要額を補正計上している。

(浅利生涯学習課長)

- ・生涯学習奨励員15人に係る費用弁償で、臨時会議の開催が生じたことと、会議等への出席率が高く予算額に不足が生じたため所要額を補正計上している。

(高橋市民会館長)

- ・今後、予定されている催事から要する舞台運営費委託料の所要額を補正計上している。

(富岡学習資料館・イベント交流館長)

- ・高井有一文庫事業費で、図書消毒機の来年2月から3月までのリース料を補正計上している。これは、今年、ご遺族から寄贈された旧蔵資料に付着している「かび、ほこり」等を取り除き、最良の状態で保管することを目的としている。また、機器には、故高井有一氏ご遺族からの寄付金で設置していることを明記する。

(高橋教育次長兼スポーツ振興課長)

- ・落合運動施設管理運営費で、今年6月から飲料不可としていた井戸水から上水道切り替えによる水道料の所要額を補正計上している。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

【文化財課関係】

- ・県文化財指定「松本家」で、消防署の立入検査が実施され、自動火災通報装置設置の指摘を受けた。これに伴い、同通報装置の設置に係る工事費と電話回線使用料の所要額を補正計上している。また、県文化財保護室から補助金交付の打診を受けているが、まだ、交付額が確定していないことから、歳入には計上していない。いずれ、県費と併せて事業を実施することとしている。
- ・桧木内川堤桜並木の整枝作業用及び積雪期の落雪防止作業用高所作業車賃借料の予算額に不足が生じたため所要額を補正計上している。
- ・伝建群保存地区内の板塀損傷の工事が完了したことに伴い、実績額の確定による差額分を減額補正としている。
- ・ユネスコ無形文化遺産登録となった東北の5団体「東北山・鉾・屋台協議会」の第3回会議が来年2月11日の「おやま囃子芸能発表会」と併せて開催される。その際にそれぞれの行事に付随したお囃子団体を招聘し、交流を図るための経費の所要額を補正計上している。

【平福記念美術館関係】

- ・障がい者トイレ自動ドア装置取替に係る修繕料を補正計上している。これは、今年度の当初予算に組み込まれていた経費になるが、夏期の冷房切り換え時に冷温水機からの水漏れが発生し、この修繕を優先し充当したことにより、予算額に不足を生じたためである。

(安部委員長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(坂本委員)

市民会館にお尋ねします。今後、見込まれる催事を具体的に教えてください。

(高橋市民会館長)

明後日、ピアノの発表会が開催されます。また、今後は市民団体、サークル活動の発表

会などが予定されており、その際も音響や照明の使用が必要になることから、予算額に不足が見込まれる委託料の所要額を要求させていただきました。

(坂本委員)

特段、大きな催事が予定されているわけではないのですね。

(高橋市民会館長)

はい。今日現在では、予定されておられません。

(安部委員長)

他に質問はありませんか。

－質問なし－

(安部委員長)

議案第19号平成29年度仙北市一般会計補正予算の教育費については、承認することでご異議ありませんか。

－異議なし－

(安部委員長)

それでは、議案第19号平成29年度仙北市一般会計補正予算の教育費については、承認いたします。

(安部委員長)

次に、議案第20号平成30年度仙北市一般会計予算教育費について説明を求めます。

なお、説明の際は、新年度の予算編成にあたり、どんな思いや願いを込めて作成したのかをお聞きし、新年度予算の骨格を捉えたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(朝水教育総務課長)

議案第20号平成30年度仙北市一般会計予算の教育費要求概要について説明いたします。

なお、それぞれ、課(所)ごとに説明をさせていただきます。

－資料により説明－

(主な予算事項の説明要旨)

【教育総務課関係】

- ・就学費について、大曲支援学校せんぼく校の送迎車両運行に係る経費を計上している。
現在、田沢湖地区については、支援学校のスクールバスが市民会館まで運行されていることと、これまで使用していた車両のリース契約が終了したこともあり、角館、西木地区の児童、生徒を対象とした事業内容としている。
- ・小・中学校諸工事費について、学校の大規模改修工事に係る経費を計上している。建築後40年を経過するとスーパーリニューアル・長寿命化改良事業の国庫補助の対象となる。これに向けていくためには、今後30年の耐久化を図るうえで、どの様な工事が必要になるかとした調査を行わなければならない。学校適正配置の具現化が前提になるが、老朽化が顕著な生保内小学校、西明寺中学校及び桧木内中学校は、早々にスーパーリニューアルに向けた調査に取り組む必要があることなど、こうした思いを込めて予算要求している。
- ・複式学級指導支援員派遣事業費について、今年度は中川小学校1人、桧木内小学校1人となっているが、来年度は、それぞれ複式学級が1クラスずつ増える見込みから、計4人分の要求内容としている。

【北浦教育文化研究所関係】

- ・JFA夢先生招聘事業費について、小学校5年生を対象として実施しているが、是非中学校でも実施したいという強い思いから、中学校分の委託料を計上している。
- ・ドローン学習研究事業費について、これは、年次計画に基づき各小中学校に導入を進

めている事業である。今年度は、神代小学校と中川小学校、平成30年度には、白岩小学校と生保内小学校にドローンを導入することとしている。

(伊藤田沢湖学校給食センター所長)

- ・電気施設点検指導時に指摘を受けた高圧区分開閉器の工事は完了しているが、キュービクルに係る工事が必要になるので、関連の所要額を計上している。
- ・冷蔵庫が水漏れをしている状況であり、故障個所の部品のみを取り寄せることが出来ないことを確認している。こうしたことから、その備品購入費を計上している。
- ・安心・安全で、心のこもった美味しい給食を提供できるよう努めたい。

(千葉角館学校給食センター所長)

- ・歳入の給食収入について、当給食センターでは、小学校3校、中学校1校及び支援学校に給食を提供しているが、児童生徒数の減少に伴い、現年度分は前年度比、減額として計上している。
- ・滞納繰越分については、ほぼ前年度と同額としているが、現時点での今年度歳入は、予算額を大きく上回る収納状況となっており、引き続き滞納整理に努めたい。
- ・総合給食センター建設事業費で、設計、工事管理業務委託費、建設工事費については、現在、執行中の基本設計で概算経費の確定後に財政当局と協議のうえ、要求額を精査することとしているので、ご了承願いたい。

(芳賀西木学校給食センター所長)

- ・給食センター管理運営費で、キュービクル内工事の所要額を計上しているが、これについては、電気保安協会より15年経過で交換を推奨されているものであり、安心・安全な学校給食を滞りなく提供するため、突然の停電時等に対応するためである。

(浅利生涯学習課長)

- ・花いっぱい運動推進事業費について、年次計画で盛土工事を進めているが、土の価格が若干ではあるが高騰しており、そのため、前年度比、増額で計上している。
- ・新規事業として、子供演劇体験事業（仮称）に係る所要額を計上している。これは、秋田芸術村との連携協定により、主要事業に演劇大学創設の構想が掲げられており、そこで、小中学校の夏休みなどに秋田芸術村の劇団員から講師を招き、子供たちに演劇体験を通して、理解力や表現力、コミュニケーション能力などを育むことを主眼として提示したい。また、グローバルな人材育成が叫ばれる中、地域に根差した活動を展開している秋田芸術村及び地方創生・総合戦略室と協議しながら事業を推進したい。
- ・行政から寄り添い、情報を地域に発信するという点に着目した事業を展開したいということで予算編成を行い、要求額を計上している。

(佐々木（幸）田沢湖公民館長)

- ・田沢湖公民館活動推進事業費について、小学校との連携で希薄な部分があり、地域の方々、企業及び団体が持っている豊富な知識や経験、アイデアや思い等を学校教育に取り入れていただけるよう公民館活動として支援する目的で報償費を増額し、計上している。
- ・生保内節盆踊り開催費補助金について、年々、参加者が減少傾向にあるので、限られた予算ではあるが、より一層、創意工夫を凝らし事業の推進に努めたい。

(佐々木（勇）角館公民館長)

- ・新規事業として、角館東地区公民館施設の老朽化に伴い、改修、補強工事等に係る設計委託料及び工事請負費の所要額を計上している。
- ・角館公民館活動推進事業費で、ヨガ教室、季節の料理教室が大変好評なことから、今年度は、開催回数を増やしたいということで、報償費を増額し計上している。また、備品購入費については、陶芸学科から活動推進のために必要とされる要望のあった品

目の所要額を計上している。

- ・武家屋敷小野崎家管理運営費について、角館公民館（小野崎家）、角館武道館両施設の屋根塗装工事に係る設計、管理委託料及び工事請負費を計上している。
- ・角館公民館（小野崎家）、角館東地区公民館は、それぞれ災害時の非難場所に指定されている。こうしたことから、より安全な避難施設機能を維持、確保を図ることに傾注した予算の編成作業を行い、要求額を計上している。

（山田西木公民館長）

- ・予算規模は、前年度とほぼ同規模としているが、今年度、日中や平日に参加できない方々を考慮して、各種教室や講座等の一部を夜間や休日に開催したところ、大変好評であった。予算編成には、このようなことを考慮して、所要額を計上した内容としている。
- ・新年度も受講者等には、笑顔で参加していただけるよう、地域に溶け込んだ公民館活動の事業推進に努めたい。

（高橋市民会館長）

- ・身障者用トイレがアコーディオンカーテンで仕切られていて、鍵を施錠出来ない状態となっている。また、トイレ入口部分が車椅子で入ることが出来ないスペースのため、現在、図書館のトイレを使用いただいている状況になっている。このようなことから、身障者用トイレ（男女用箇所）改修費の所要額を計上している。
- ・自主事業運営費について、恒例の自衛隊コンサート等に加え、新年度は、和太鼓の演奏グループ「ドラムタオ」の公演を計画した要求額としている。このことから、歳入では、それを見込んだ入場料相当額を計上している。
- ・市民会館は築38年を経過しており、電気保安協会から指摘を受けている受電設備高圧機器の更新工事と、ロープの劣化が著しい舞台吊物関係の改修費及び実施設計委託料を計上している。

（浅利生涯学習課長）

松田館長が所用により欠席しておりますので、田沢湖図書館の平成30年度予算の概要について、説明をさせていただきます。

- ・管理運営費について、館内のトイレ5箇所の換気扇が、時折稼働しなくなる状態になるので、その交換及び修繕料と雑誌用棚に不具合が生じているため修繕費用の所要額を計上している。
- ・図書館安心・安全快適環境づくり事業費について、入口部分が暗いということで、県からも指摘を受けている。これに伴い照明機器のLED化に伴う経費と、1階閲覧室の天井部分に設置されている暖房の吹出口1個所に不具合が生じている。また、築35年以上経過していることもあるので、これを機に全部を取り換えて、利用者の安心・安全で快適な環境づくりを図るため、それぞれの工事請負費を計上している。

（富岡学習資料館・イベント交流館長）

- ・学校図書館支援事業費について、貴重な補助金を活用して導入した学校図書システムの運用で摩耗等が進み、印刷の際に不具合が生じるようになったため、図書システム更新と共に学校図書システム等リース料に必要な経費を計上している。
- ・子ども読書活動推進事業費で、子どもたちにより質の高い多くの新書を提供したいという思いから図書購入費を計上している。
- ・高井有一文庫事業について、今年度は12月2日から展示することとしている。新年度は、ご寄贈いただいた原稿を複写し、精度を高めたいと考えている。また、今回、補正予算で計上している図書消毒機のリース料12ヵ月分相当額も盛り込んだ要求内容としている。

- ・佐藤義亮生誕140周年記念事業に係わる経費の所要額を計上している。今回は、新潮社本社がある東京神楽坂周辺で実施したいと考えている。また、当時の神楽坂周辺の土地柄や情景が角館と似ていたことから、大正11年に社屋を構えたと同っている。このようなことから、記念事業では、ユネスコ無形文化遺産に登録された「角館祭りのやま行事」に欠かすことが出来ない「おやま囃子」を披露し、郷里の心意気を是非お届けしたいと考えている。
- ・学習資料館は、地域のみなさまへ学習資料等の情報を発信し提供する施設である。また、利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、必要とされる資料を検索・提供・回答するなど、研修、研鑽を重ね、より充実したサービスを提供できるよう施設の運営に努めたい。

(高橋教育次長兼スポーツ振興課長)

- ・2020仙北市スポーツ文化交流事業について、東京オリパラホストタウン事業のタイ王国とのカヌー競技をメインとしたスポーツ・文化交流に要する経費を計上している。今年1月には、タイ王国スポーツ庁の部長等が表敬訪問のため来県し、カヌー会場の現地視察が行われた。また、7月には、タイ王国スポーツ庁主催のセミナーに参加し、誘致に向けたPRを行った。地元でのカヌー競技に対しての関心や機運等を高めるため、小学生を対象としたカヌー体験教室やタイ文化に関する学習会を開催したいと考えている。7月23日に発生した豪雨で災害を受けた競技場の復旧が前提になるが、地域の活性化に向けた事前キャンプ誘致などに取り組みながら、参加国との人的、経済的及び文化的な相互交流を図りたいと考えている。
- ・ジュニアキャンプ開催事業費について、モーグル競技のジュニア育成に向けたキャンプの開催経費を計上している。モーグルの聖地に向けて、その関心を高め地域に定着した大会になるよう、選手の発掘や育成を図りたい。今年度1月下旬には、県内や北東北の小中学生を対象に選手層の底辺拡大を図るため、秋田県と共催で、関連事業を開催する予定である。
- ・田沢湖マラソン大会負担金に関し、現在、高雄国際マラソン大会との連携を進めている。今年の大会には、4名を招待したところであるが、来年2月に開催される高雄国際マラソン大会には、5名の派遣を予定している。
- ・FISモーグルワールドカップ秋田たざわ湖大会負担金に関し、平昌冬季オリンピック開催後の2019年に秋田県が開催を表明している。これは、2022年の北京冬季大会を見据えたものとして捉えている。5回目の開催に向けて取り組みたいと考えている。
- ・Coupe du Japon MTB たざわ湖大会開催費補助金に関し、この大会は、JCF日本自転車競技連盟公認のマウンテンバイクの全国大会である。地元の開催機運が高まったことから、今年7月に9年振りの開催となった。公認コースとして認定を受ければ東京オリンピックの事前キャンプ誘致も可能となり、オンシーズンの通年利用が可能となれば、アウトドア誘客のツールとしても期待されることから、田沢湖高原エリアの夏季活性化事業として、引き続き支援したい。
- ・市民体育館管理運営費で、田沢市民体育館の耐震診断調査に要する経費を計上している。当施設は、体育施設機能はもちろんのこと、災害時の避難場所に指定されていることから、安心、安全に利用出来る施設機能の維持、確保を図りたい。施設の維持、管理については、体育施設マスタープラン、公共施設適正計画及び総合計画に沿う形で改修等を行いたい。
- ・仙北市総合体育館建設事業費について、建設検討委員会に係る経費を計上している。調査検討委員会に取りまとめられた提言書を基に建設検討委員会で基本計画の作成を

進めているが、先の主要事業ヒアリングでは、合併特例事業債の活用を含めた財源の確保が不確かなこともあり、再検討となっている。引き続き、防災関係の助成制度の活用を含め、時間を掛け、総合的な観点から建設検討委員会で検討を行いたいと考えている。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

【文化財課関係】

- ・重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費について、河原田家主屋修理費、石黒家主屋修理費の所要額を計上している。これは、国の補助事業として、歳入にも予算を計上している。
- ・伝建群防災施設整備事業費について、伝建群Cブロック（河原田家、小田野家のエリア）の防災施設工事管理費、工事請負費の所要額を計上している。これは、国の補助事業として、歳入にも予算を計上している。また、県補助金は、交付額が確定後に補正対応したい。
- ・角館のお祭り保存会補助金について、10月に大曲で開催された「新秋田の行事」イベントが、来年は仙北市での開催が予定されている。また、ユネスコ無形文化遺産登録となった東北の5団体「東北山・鉾・屋台協議会」関連の事業費を計上していることから、前年度比、増額で要求している。

【平福記念美術館関係】

- ・歳入の観覧料については、今般、計上している予算額を上回る状況なので、財政課と協議を行い確定したい。
- ・管理運営費では、経常的な経費に加え、収蔵庫が大変手狭になっている状況なので、増設に向けた工事請負費に要する経費を計上している。
- ・常設・企画展示費について、来年度は、開館30周年を迎えることになるので、その記念企画展を開催することを先の運営審議会に提示したところである。秋期の平福穂庵・百穂の企画展と夏期には、県内、若手芸術家の方々の企画展を開催する方向で計画している。
- ・冷温水発生機更新工事費を計上している。開館以来、冷暖房機の更新が行われておらず、水漏れ等により修繕費が掛かり増しになっている。閉館しなければ、配管工事等を行うことが出来ない内容であるが、早急に更新工事が必要なことから、関連の所要額を計上している。

(安部委員長)

とても、丁寧に説明をしていただきありがとうございました。

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部委員長)

みなさんが、各事業を通して地域に奉仕したいという意気込みやこんな地域にしたいという願いが、予算内容に反映されていることを大変、力強く感じました。また、小中学校の大規模改修については、学校適性配置の方向性が見えてこないために、担当のみなさんには、不安を与え、予算の編成などで迷惑を掛けていることを痛感しております。説明を聞いて、新しいこともたくさん知ることができました。佐藤義亮生誕140周年記念事業に関して、神楽坂の情景が角館にとっても似ているということを初めて知りまして、驚きを感じました。生涯学習課や各公民館からは、情報を地域に発信する行政でありたいということが、強く私の印象に残っています。そして、勤労青少年ホームのテニスコート改修工事に関しては、地域や団体の要望を受け入れて、予算要求をしていただき感謝します。

また、スポーツ振興課では、モーグルの聖地として事業を展開したいという意気込みを強く感じたところです。

(安部委員長)

私から、提案が一つあります。予算のことなので、あたり前のことになりますが、項目ごとに対象となる事業が決まっています。文化財課の役割として、広域的に地域文化を掘り起こし、積極的に地域文化を継承していかなければならないということがあります。しかし、これに関する予算項目がありません。おそらく、このような要望があると思いますが、予算がないから出来ないなど、決して、やる気がない訳ではないのに、相手からは、そのようなニュアンスで受け取られ、担当が苦しい思いをしている場面があるのではないのでしょうか。ささら舞、カンデッコ上げ、番楽等の団体や民謡等様々な地域文化の掘り起こしに、ゆとりをもって対応できる予算項目が必要ではないのでしょうか。

例えば、「地域文化振興補助金」等名称の予算項目があれば、対応もしやすくなるので、こうした項目を入れた予算概要にさせていただきたいというのが私の提案です。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

現在、白岩堂の口ささら会から補助金等の相談を受けていて、新年度に向けて調整等をしていたところですが、集落からの結論が、まだ出ていないので待っている状況でして、ご提案にあった名称のような補助金の交付に向けて前向きに検討をしていたところではあります。

また、各文化財保護協会と連携を深めておまして、地域の文化財調査、地域文化の掘り起こしや確認等、事業としてお金の掛からない部分と、必要な部分は事業項目を検討しながら対応したいと考えています。

(安部委員長)

一生懸命に取り組んでいるのは、良く分かります。ただ、予算がなくて、文化財関係のみなさんが苦しい思いをしているのではないかとということで、是非、そのような予算項目を設けて要求してみてもいいと思います、提案したところではあります。

(渡辺教育部長)

まずは、交付要綱を制定してから、初めて、補助金の交付ができることになります。また、漠然とした予算枠を設け、柔軟に対応できるような内容での予算措置はできない状況です。

(安部委員長)

それについては、私も十分に認識しています。補助金だけを限定しているものではなくて、事業費として対応できる項目があれば、担当者も対応が円滑になるのではないかと考えていますので、是非、検討してください。

(安部委員長)

他に、質問等はありませんか。

－質問なし－

(安部委員長)

それでは、議案第20号平成30年度仙北市一般会計予算教育費については、承認いたします。

(安部委員長)

次に、報告第37号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(渡辺教育部長)

報告第37号仙北市教育行政報告について説明いたします。

－資料により説明－

(安部委員長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

「中学生の活躍について」中、ジャベリックスローとは、どのような種目でしょうか。

(三浦北浦教育文化研究所長)

端的にお答えしますと、やり投げ種目のジュニア版となります。

(安部委員長)

ほかに、質問はありませんか。

－質問なし－

(安部委員長)

それでは、報告第37号仙北市教育行政報告については、承認いたします。

(安部委員長)

次に、報告第38号仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業補助金交付要綱の制定について説明を求めます。

(浦山教育部長)

報告第38号仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業補助金交付要綱の制定について説明いたします。

この要綱は、雪国である仙北市の自然条件を生かして積極的にウインタースポーツに親しむことを支援するとともに、冬期間、運動不足になりがちな児童の体力の維持・向上を図るために要する経費に対し、補助金を交付することについて、仙北市補助金等交付規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものであります。

なお、補助対象経費は、補助対象事業の実施に必要なリフト代となります。

－資料により説明－

(安部委員長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(安部委員長)

それでは、報告第38号仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業補助金交付要綱の制定については、承認いたします。

(安部委員長)

次に、報告第39号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について説明を求めます。

(浦山教育次長)

報告第39号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について説明いたします。

これは、先の教育委員会定例会でも要望のありました新入学用品費を入学前の年度内に支給を行うものであります。現行は、新年度になってから申請を受けて、4、5月に支給していましたが、入学前の年度内に支給するため要綱の一部を改正するものであります。

ただし、入学前の年度内に支給を受けた場合は、翌年度の新入学用品費は支給しないこととしております。

－資料により説明－

(安部委員長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(河原田委員長職務代理者)

これで、入学前の負担を軽減することができます。先の要望に応じていただき、ありがとうございました。

(安部委員長)

ほかに、質問はありませんか。

－質問なし－

(安部委員長)

それでは、報告第39号就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定については、承認いたします。

(安部委員長)

次に、(3)仙北市教育委員会委員長の選挙について、説明を求めます。

(朝水教育総務課長)

仙北市教育委員会委員長の選挙について説明いたします。

これは、安部委員長の任期が、平成29年12月21日で満了になることに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項及び仙北市教育委員会会議規則第2条の規定により委員長を選挙するものであります。

また、委員に異議がないときは、指名推薦の方法を用いることができます。

なお、熊谷教育長の任期が満了となる平成30年3月31日をもって、旧教育委員会制度から新教育委員会制度へ移行となることから、新委員長の任期は、平成30年3月31日となりますので、ご審議の程お願いいたします。

(安部委員長)

只今、朝水教育総務課長から説明がありましたが、委員長の選任方法について、如何としましたらよろしいでしょうか。

(坂本委員)

指名推薦でお願いいたします。

(安部委員長)

只今、選任方法について、指名推薦のご意見がありました。

お諮りします。指名推薦でご異議ありませんか。

－異議なし－

(安部委員長)

それでは、委員長の選任方法は、指名推薦といたします。

(坂本委員)

引き続き、安部委員長でお願いいたします。

(安部委員長)

ご異議ありませんか。

－異議なし－

(安部委員長)

引き続き務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(安部委員長)

次に、(4)仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について、説明を求めます。

(朝水教育総務課長)

仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について説明いたします。

これは、河原田委員長職務代理者の任期が、平成29年12月10日で満了になることに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項及び仙北市教育委員会会議規則第3条の規定により委員長の職務を代理するものを指定するものであります。

(安部委員長)

選出方法について、指名推薦でご異議ありませんか。

－異議なし－

(安部委員長)

それでは、委員長職務代理者の選任方法は、指名推薦といたします。

(坂本委員)

引き続き、河原田委員でお願いいたします。

(安部委員長)

委員長職務代理者は、河原田委員への推薦がありました。ご異議ありませんか。

(安部委員長)

－異議なし－

(安部委員長)

委員長職務代理者には、河原田委員が選任されました。引き続き、よろしくをお願いいたします。

(安部委員長)

次に、その他の時間といたします。いじめ・不登校対策についてお願いします。

(三浦北浦教育文化研究所長)

10月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校6件の認知件数の報告がありました。中学校はありませんでした。

次に、10月の不登校は、小学生2名、中学生9名、計11名となっております。

以上、10月のいじめ、不登校の状況です。

(安部委員長)

10月の報告事案について、質問はありませんか。

(安部委員長)

次に、教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(朝水教育総務課長)

平成29年第12回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。ページに沿ってご説明いたします。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたら、今月24日頃までご連絡くださるようお願いいたします。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(朝水教育総務課長)

事務連絡であります。来月の定例会開催日時について、最終木曜日となる28日が御用納めになることと、21日(木)に「大仙仙北美郷教育委員会連絡会」意見交換会、懇談会が美郷町で開催されることから、21日(木)に開会時刻を早めて、12月定例会を開催し、その後、公用車で美郷町へ出発したいと考えています。

確定次第、お知らせいたしますので、日程調整につきましては、ご高配くださいますようお願いいたします。

(安部委員長)

皆さんご承知のとおり、佐久間委員が、今月29日で退任されます。長い間、仙北市政発展のためにご尽力を賜りました。また、我々教育委員も数多くのご指導をいただきました。そこで、佐久間委員から退任のご挨拶をお願いいたします。

(佐久間委員)

とても貴重な時間をいただき感謝申し上げます。教育委員、職員のみなさん、長い間大変お世話になりました。町村合併が行われ仙北市が誕生し、教育委員は、合併特例法により、それぞれの任期がまばらな状態で選任されました。今日まで、自分では、大変長くなり、みなさんにご迷惑お掛けしたとっていて、反省しているところです。ここで、合併当初を振り返りますと、私は、小さな村の出身でありましたが、大きな2町のみなさんと

様々な議論を交わさせていただきました。角館は歴史と文化のまち、田沢湖は色々な行事を全国的に展開しているまちということで、両町の中身を実感し、大変驚きを感じました。

仙北市の教育委員会は、多様な面で、県内でもトップクラスにあると思います。教育面はもちろんですが、歴史や文化、芸能等に関し、その事業規模や事業内容等、全てにわたり、充実した事業を展開しているので、県内はもちろん全国でも屈指の教育委員会だと思っています。どうかみなさん、自信と誇りを持って、さらに磨きをかけ、仙北市民にとって、人づくりは、将来にわたり最高の財産となります。どうかこれからも、オール教育委員会で頑張っていたきたいと思います。今後、私は一市民としてエールを送っていきたいと思います。みなさん、長い間、大変ありがとうございました

(安部委員長)

それでは、以上で平成29年第14回仙北市教育委員会11月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時35分)